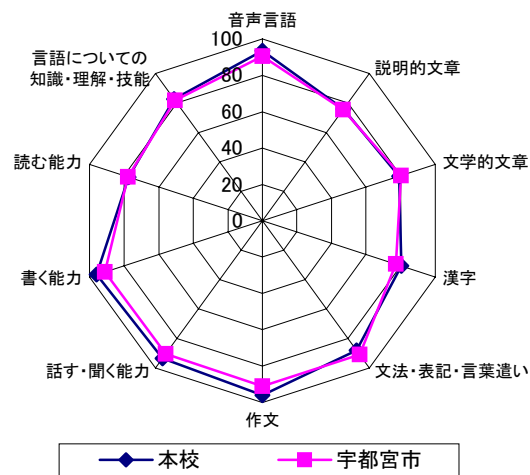


宇都宮市立上河内中学校第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	93.6	90.6
	説明的文章	75.9	75.5
	文学的文章	79.0	80.2
	漢字	80.2	77.2
	文法・表記・言葉遣い	88.0	91.0
	作文	95.9	90.9
観点別	話す・聞く能力	93.6	90.6
	書く能力	95.9	90.9
	読む能力	77.4	77.8
	言語についての知識・理解・技能	82.8	81.8



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (93.6%)	・宇都宮市の平均正答率を3.0ポイント上回った。これはテストのたびに聞き取り問題を行ってきた成果であると考えられる。またその際にどのような点を集中して聞けば良いか、メモはどのように取るかなど、を指導した結果である。	・今後とも聞き取り問題を行う機会をとり、音声言語への対応を指導していきたい。
説明的文章 (75.9%)	・宇都宮市の平均正答率を0.4ポイント上回った。テストの回数も増え、説明的文章を読む回数が増えたことも結果につながったと考えられる。	・文と文の関係を考えながら、語彙を増やす指導を引き続き行っていきたい。
文学的文章 (79.0%)	・宇都宮市の平均正答率を1.2ポイント下回った。どう解答していいか解らない、や、なんとなく答えた、という意見が聞かれた。登場人物の心情が文章を根拠として読み取れるように指導していく必要性を感じた。	・登場人物の心情や行動を文章から読み取る必要がある。そのために、「何となくこうしている」ではなく、根拠をもった読みとりができるように指導をしていきたい。
漢字 (80.2%)	・宇都宮市の平均正答率を3.0ポイント上回った。毎時間漢字の小テストを行ったり、朝の学習で漢字に取り組んでいる成果であると考えられる。	・わずかでも時間を見つけ、数多くの問題を解かせていくことが大切であると考えられる。今後とも時間を見つけ、練習に取り組ませていきたい。
文法・表記・言葉遣い (88.0%)	・宇都宮市の平均正答率を3.0ポイント下回った。文法に関しては、「学習したときはわかるけど…」という声が数多く聞かれた。空いた時間を見つけては、復習の必要性があると実感した。	・授業でも文法を苦手としている生徒が数多く見られた。今後の指導としては復習の時間をとり、数多くの練習問題に取り組ませていきたい。
作文 (95.9%)	・宇都宮市の平均正答率を5.0ポイント上回った。95%以上の正答率ということで、今までの学習の成果が見られたと考えられる。	・国語だけでなく、さまざまな教科で「書くこと」を積極的に行ってきた成果である。今後ともさまざまなテーマで自分の気持ちを伝える活動を行っていきたい。